

水曜日だけ開く架空の郵便局「鮫ヶ浦水曜日郵便局」の実現に向け、クラウドファンディングを9月6日(水)より開始。



(写真：森賢一)

一週間にたった一日、水曜日だけ開く郵便局。そこに集まってくるのは、どこかの誰かの、とある水曜日の出来事が記された手紙。

宮城県東松島市宮戸島にある旧鮫ヶ浦漁港に、郵便局に見立てたポストを出現させ、水曜日の出来事が綴られた手紙を全国から募集します。集まった手紙は、個人情報伏せの上で無作為に交換し転送されます。手紙を送った人の元には、知らない誰かの水曜日の出来事が綴られた手紙が届くことになります。

水曜日郵便局を通して行き交うのは、無数の小さな水曜日の物語です。決して大きな物語にかき消されてはいけない、私たちのささやかな、しかし生き生きとした小さな物語たち。水曜日郵便局とは、そんな小さな声を交換するためのプラットフォームです。本事業の実現に向け、クラウドファンディングを実施致します。

鮫ヶ浦水曜日郵便局 概要

- 実施期間：2017年12月6日(水)～2018年12月5日(水) ※予定
- 開催地：旧鮫ヶ浦漁港(宮城県東松島市宮戸)
- ウェブサイト：<http://www.samegaura-wed-post.jp/> ※9月6日にティザーサイト開設予定
- キャッチコピー：トンネルをぬけると、そこには水曜日がありました。
- 局長/ディレクター：遠山昇司 ■ 管理人/プロデューサー：芹沢高志 ■ 配達員：高田彩、桃生和成
- 写真：森賢一 ■ ロゴ・グラフィックデザイン：吉本清隆 ■ ウェブサイトデザイン：泉田茜
- イラスト：小池アミゴ ■ 局員帽子デザイン：スソアキコ
- 主催：水曜日観測所 ■ 後援：東松島市 ■ 協力：日本郵便株式会社東北支社、石巻郵便局、鳴瀬郵便局 ■ 企画協力：つなぎ美術館
- 協賛[8/30現在]：アサヒグループホールディングス株式会社

クラウドファンディング 概要

- 期間：2017年9月6日(水) 0:00～12月5日(火) 23:59まで
- URL：<https://motion-gallery.net/projects/wed-post/> (MotionGallery内)
- 目標金額：350万円
- リターン例：オリジナルレターセット、オリジナル切手、“水曜倶楽部”会員証、開局イベントへの参加、関連作家のオリジナル作品 ほか

郵便振替・銀行振込を通じてのご寄付も募ります。

詳細は、9月6日以降に鮫ヶ浦水曜日郵便局ウェブサイト(<http://www.samegaura-wed-post.jp/>)やチラシに記載予定。

水曜日郵便局とは — プロジェクトのはじまりと、熊本からのお引越し



オリジナル封筒と便箋



赤崎水曜日郵便局の様子 (写真：森賢一)

2013年6月、熊本県津奈木町にあるつなぎ美術館が主体となって、閉校になった海の上の旧赤崎小学校を舞台に「赤崎水曜日郵便局」が開局しました。海外も含めて全国から続々と手紙が寄せられ、2016年3月に閉局してからは、再開局を望むたくさんの声が上がりました。

プロジェクトの発案者の一人である、映画監督の遠山昇司は、水曜日郵便局の次なる開催地を求めて全国を巡り、やがて、宮城県東松島市宮戸島にひっそりと存在する、使われなくなった漁港「旧鮫ヶ浦漁港」に出会いました。

旧鮫ヶ浦漁港に向かうには、大鮫隧道と呼ばれる素掘りのトンネルを通る必要があります。真っ暗なトンネル内を進んでいくと、ゆっくりと光が近づいてきます。そして、トンネルを抜けた先に、海が現れます。

私たちは、トンネルをぬけた「その先」にささやかな希望とともに水曜日が届く場所を設定することにしました。

局員紹介



局長／ディレクター 遠山昇司 (映画監督／赤崎水曜日郵便局長)

1984年、熊本県生まれ。法政大学国際化学部卒業。ボストン大学留学。早稲田大学大学院国際情報通信研究科修了。『赤崎水曜日郵便局』では、システムを五十嵐靖晃氏と共に発案し、ディレクター・局長としてクリエイションに関する総合的なディレクションを行った。同プロジェクトは2014年度グッドデザイン賞を受賞。映画作品としては、『NOT LONG, AT NIGHT - 夜はながくない -』(2012)、『マジックユートピア』(2015/丹修一 共同監督)、『冬の蝶』(2016)などで監督・脚本を務めており、国内外の映画祭において高い評価を得ている。



管理人／プロデューサー 芹沢高志 (環境計画家／P3 art and environment 統括ディレクター)

1951年東京生まれ。神戸大学理学部数学科、横浜国立大学工学部建築学科を卒業後、(株)リジонаル・プランニング・チームで生態学的土地利用計画の研究に従事。89年にP3 art and environmentを開業。帯広競馬場で開かれたとかち国際現代アート展『デメテル』の総合ディレクター(2002年)、アサヒ・アート・フェスティバル事務局長(2003年～2015年)、横浜トリエンナーレ2005キュレーター、別府現代芸術フェスティバル『混浴温泉世界』総合ディレクター(2009年、2012年、2015年)、さいたまトリエンナーレ2016ディレクター(2016年)を歴任。



配達員 高田彩 (コーディネーター／ビルド・フルーガス代表)

1980年、宮城県塩釜出身。エミリー・カー美術大学(カナダ・バンクーバー)卒業。アーティストネットワーク「ビルド・フルーガス」代表(www.birdoflugas.com)。2006年宮城県塩釜にbirido spaceを開業。地域の人々を巻き込んだアートプロジェクトや、クリエイティブな視点と表現方法で新たに塩釜の魅力を伝えるウェブサイト「クラシオ」(www.kurashio.jp)等の企画運営を行う。2014年より塩釜市杉村惇美術館統括。宮城県文化芸術振興審議会委員、塩釜市海と社の景観審議会委員、仙台エスベラント会員。

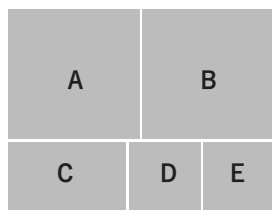


配達員 桃生和成 (コーディネーター／一般社団法人Granny Rideto 代表理事)

1982年仙台市生まれ。一般社団法人Granny Rideto代表理事。2008年、特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター入職。同年、多賀城市市民活動サポートセンターに勤務。2013年よりセンター長を務める。2016年3月、せんだい・みやぎNPOセンター退職。その他、東北の日常をおもしろくするつれづれ団や地域資源を活かした多賀城をあそぶプロジェクトなどで活動。

広報用画像

広報用素材として「鮫ヶ浦水曜日郵便局」のイメージビジュアルをご提供致しますので、お気軽にお問い合わせください。



使用条件

- ・媒体への掲載時は、画像クレジットとして「写真：森賢一」とご明記ください。
- ・トリミングや加工はご遠慮ください。
- ・写真に文字や他の図像が重ならないようにしてください。
- ・後日、掲載媒体を事務局宛にご提供ください。現物でもデータでも結構です。

お問い合わせ・取材のご依頼

鮫ヶ浦水曜日郵便局 事務局 担当：松本・大曾根 までご連絡ください。

〒162-0837 東京都新宿区納戸町12番地 第5長森ビル4階 P3内

TEL 03-5579-2724 FAX 03-5579-2722

MAIL info@samegaura-wed-post.jp